

令和5年沼津市教育委員会 第10回定例会会議録

1 日 時 令和5年10月19日(木)
午後3時01分～午後4時07分

2 場 所 沼津市民文化センター 2階 第2練習室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(川口委員 佐藤委員)
- (3) 教育長職務代理者の指名
- (4) 教育長報告
- (5) 議案
- (6) 協議事項
- (7) 報告事項
報告事項1 令和5年9月市議会定例会一般質問等について
報告事項2 第40回沼津市山口源新人賞の決定について
- (8) その他
- (9) 報告事項
報告事項3 令和5年度全国学力・学習状況調査について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 重光純、委員 川口浩史、委員 土屋葉子、委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 山崎巖、教育企画課長 原将史、学校管理課長 齋藤忠興、教職員研修センター所長 中嶋記恵子、学校教育課学校給食室長 渡邊偉智洋、文化振興課長 林敬博、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 山本浩司、図書館事務長 中澤芳子、調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教職員研修センター指導主事 大友未来、教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課主任 岩崎雄、教育企画課事務補助員 後藤恵

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時01分開会を宣言する。

奥村教育長 日中、まだまだ暑さを感じるが、9月までの猛暑を忘れてしまうほどのスピードで短い秋が訪れている。また、市内各小中学校でもインフルエンザが流行し始めているため、皆様も御自愛いただきたい。今年は記録的な大雨、危険に迫る暑さ等、各地で「観測史上初めて」というフレーズを何度も耳にしている。9月に発生した台風はわずか2つだが、全国的に30℃を越す日々が何度も続いてきたため、海水の温度上昇への影響を考えると来月まで台風が発生してもおかしくない。先日、ある中学校を訪問した。インフルエンザが流行して学級閉鎖が続いたため、予定していた体育祭を延期したとのことだった。そのため6時間目に運動場で全員リレーの練習をしていたが、授業後に教室に戻ると1人の生徒が体調不良を訴えて床に倒れこんでしまった。学校は直ちに救急車を要請し、駆けつけた両親が

救急車に同乗して病院へと搬送されたが、その日のうちに体調が快復し、入院をせずに帰宅し、翌日には登校できたと聞いている。昨日も県内の最高気温は25℃を上回る夏日であったが、9月下旬には、三重県のある小学校で運動会の組体操の練習を裸足で行っていたところ、十数人が低温火傷を負ってしまった。当日の温度は30℃くらいだったが、校庭の土の温度は50℃くらいになっていた可能性があるとのことだった。そう考えると、これから学校が来年度の教育課程の編成をするにあたって、これまで以上に気候変動を考慮して計画することが求められると思う。

今週月曜日は9月市議会の閉会日であった。午前10時に開会して、閉会したのは午後11時直前であった。報道等で周知のとおり、今回の議会では、沼津市が現職の市議会議員に対して市有地を駐車場として貸した利益の返還を求めて提訴する議案が上程された。当該議員と同じ会派の市議会議員がその議案への質問をする際に、「私も市有地にある竹林で筍を採って販売した」などと発言をした。その発言をめぐって、最終日の議会が空転し13時間に及んだ次第である。翌日には庁舎7階の監査委員事務局に報道のカメラも入った。提訴議案の可決によって、今後和解しなければ法廷で裁かれることになるわけだが、提訴に反対する方々から、提訴に必要な費用の支出には合理性がないという提訴反対に係る署名489人分と監査請求書が提出された。正式に受理されたのかはわからない。一方、“筍の発言”で出席停止1日の処分を受けた市議が、地方自治法に基づいて川勝知事に処分の取り消しを求める審決申請の意向を明らかにしているようだ。これらに関することを報道機関が連日取り上げていたが、市内の中高生たちはどのように受け止めているのかと考えると非常に複雑な気持ちである。なお、5人の議員から教育委員会に対して一般質問があったので、この後の報告事項において事務局から報告する。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、佐藤委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

奥村教育長より、川口浩史委員が9月市議会定例会において沼津市教育委員として任命の同意の議決があったことについて報告する。

奥村教育長 川口委員には、令和9年10月までの任期を務めていただく。よろしくお願ひしたい。改めて、川口委員から一言御挨拶をお願ひする。

川口委員 3期目となった。自分は仕事上、少子高齢化の「高齢化」側に長年関わっているので現状はよくわかっている。住んでいる愛鷹地区は子どもが多く、自身の法人の職員調べでは3人以上子どもがいる家庭が職員全体の12人に1人の割合である。そのため少子化の現実味はあまり感じられないが、これまでの教育委員会の活動を通して、少子化問題は大変深刻であることを理解している。自分に何ができるかはわからないが、これから教育を受ける子どもたちの力になりたいと願っている。

奥村教育長 川口委員の力に期待している。よろしくお願ひしたい。

(3) 教育長職務代理者の指名

奥村教育長より、教育長職務代理者について、10月19日付けで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、新たな教育長職務代理者として重光委員を指名する。

(4) 教育長報告

奥村教育長 9月24日に市民文化センターにおいて、沼津市制100周年記念日本舞踊特別記念講演が行われた。沼津舞踊連盟は、日本を代表する日本舞踊家、故・花柳稔氏によって1983年に発足された連盟である。市制100周年を記念して行われた本公演では、三番叟物のひとつ「四季三葉草」の他、歌川広重が描いた東海道の趣を花柳稔氏が舞踊化した「駿河風流」や「沼津音頭」、「沼津ふるさとの街」などの沼津地踊りも披露された。先人たちへの感謝と敬意をはらって次の100年につなげていくというコンセプトに合致した演目であり、本物の伝統文化を間近で感じる貴重な機会となった。

10月1日には、第50回沼津市芸術祭開会式が開催された。開会式に引き続き開催された合唱祭を皮切りに、11月19日までの50日間に渡って作品展やステージ発表が行われる。市制100周年の年に50回目の節目を迎えるということで、それぞれの部門では様々な趣向を凝らしたものが計画されている。私も芸術の秋を存分に味わっていきたくと、毎週土曜日、日曜日には会場に足を運んでいるが、沼津御用邸東附属邸において開催された第50回沼津市芸術祭茶会にも参加させていただき、佐藤委員にも御参加いただいた。私は「初めてのお茶会」と題した、幼稚園児から小学生までが季節を感じながら和菓子や抹茶をいただいたり、自分でお茶を点てたりするのを親子で一緒に体験する茶席に同席した。子供たちが茶文化に関心を持つ良い機会となっていると感じた。また当日は、加藤学園高校煎茶部の生徒たちがスタッフの中心となりお客様をお迎えする姿も見られ、若い力とベテランの力が見事に融合された素敵なお茶会であった。佐藤委員においては、2席の茶会に御参加いただいた。御感想はいかがか。

佐藤委員 当日は沼津市外からの参加もあったので、広く知れ渡っている行事だと実感した。
奥村教育長 沼津市民だけではなく、近隣市町からの参加もあった。

10月8日に愛鷹広域公園で行われた、子どもの遊び王国in沼津の開会式にも参加した。子供が実際に見て、聞いて、触って体を動かすことを通して世代間の交流や親子の交流を目的に行っている。午前中、楽しそうに遊ぶ親子の様子があちらこちらで見られた。屋外においてのアスレチック体験、カーリングを床上で行うカローリング、紙飛行機やペンシルバルーン制作等を通して元気に遊ぶ子の姿を家族が笑顔で見守る光景が印象的だった。10月、11月と、このような芸術祭は続くので、皆様もぜひ足を運んでいただきたいと思う。教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程(5)議案は、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程(6)協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（7）報告事項である。

報告事項1 令和5年9月市議会定例会一般質問等について

<本会議で行われた一般質問について報告する。5人の議員から、オープンバッジ導入による公的認証の利用促進について、本市の交流人口拡大に向けた取組について、市立小中学校における学校図書館の充実について、本市における会計年度任用職員制度の運用について、市制100周年お祝い給食について等の質問があり、市長、教育長及び教育次長が答弁を行った。>

(教育次長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御質問等いかがか。

川口委員 エアコンの設置に関して、体育館はとても気温が高くなる中で子供たちが集まる場であるが、体育館へのエアコン設置が考えられているのか伺いたい。

学校管理課長 体育館は非常に広い空間であり、既存の体育館の設備が断熱を全く考慮していない状態となっているため、断熱と合わせてエアコンを設置するという工事が必要となる。現時点では、費用面から考えても難しく、エアコンを設置するという決定は全くできないが、今後の施設整備の中では検討のひとつとなるかもしれない。

奥村教育長 災害時の避難場所として学校の体育館を指定している地区が多いと思う。大災害は比較的夏に起こりやすい。トイレに関しても多目的トイレが求められている。必要性に関しては我々も認識しているところである。

重光委員 コロナが流行った時に、換気の必要性から窓を開けることが多かったと思う。自分の事務所でも同様に換気を行ったところ、エアコンの効率が悪くなり、電気代が高騰した。学校においても今、換気のために窓を開けるようになっているのか。

学校管理課長 引き続き、エアコンが稼働していても換気するようにしている。今はエアコンと同時に扇風機も併用するようにしているが、あまり効いているという感じはしないかもしれない。

奥村教育長 一旦室温が冷えるまで、設定温度を下げてから少しずつ調整する必要があると思う。電気代に関してはどうか。

学校管理課長 電気代に関しては単価も上がったことから、昨年度は補正予算を要求するほど非常に高かった。このことを踏まえて各学校には、カーテンで直射日光を防ぐ、扇風機を使うといった方法でなるべく設定温度を下げないように節電に努めていただいた。

奥村教育長 今年がピークというわけではなく、夏場の高温はさらに加速することが予測される。ほかにいかがか。

土屋委員 学校図書に関して、全国の自治体で図書購入に使われたのは地方交付税交付金措置の6割弱にとどまっているということを知った。沼津市の現状はどうか。交付金の100%を充てているのか。子供たちのためにはたくさん使ってほしいと思う。

- 学校管理課長 学校図書館の標準蔵書率は、20校中16校が達成している。中学校においても14校中8校が達成、小中一貫学校は全校が達成している。比較的達成している学校が多いことから、交付金の100%を充てるということはしていない。
- 奥村教育長 交付金の用途は市に任されてはいるが、できるだけその率は上げてほしいところである。よろしくお願ひしたい。
- 土屋委員 小学校、中学校それぞれの実際の購入費だが、学校の生徒数に応じて割り当てているのか。
- 学校管理課長 おっしゃるとおり、学級数や児童数生徒数を加味して金額を割り振るようにしている。
- 奥村教育長 安定的ではないが、地域の方々やライオンズクラブ等市内の方々から御寄贈いただいているというありがたい現状もある。大変感謝している。ほかにいかがか。なければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 第40回沼津市山口源新人賞の決定について

＜本市ゆかりの版画家である山口源を顕彰し、将来有望な版画家に授与している沼津市山口源新人賞の審査が行われ、三宅葵さんの「2020.9.16 16:14」が受賞作品に決定したことについて報告する。＞
 (文化振興課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。私も文化振興課長と作品を見に行った。畳1枚を少し小さくしたくらいの、かなり大きな作品であった。実際に三宅さんともお会いして話を伺った。三宅さんは、大学院修了の1年間をかけてこの作品を作った。作成中は、机の上に1,000色以上の色を作りながら完成させたものだというのである。三宅さんと同じ多摩美大の大学院後輩である昨年度の受賞者、五日市諒子さんは、第90回日本版画協会賞グランプリを受賞している。これは大変名誉なことである。
- 文化振興課長 令和6年2月にモンミュゼ沼津で山口源作品展が開催されるが、これらの作品も含めて展示される。2人にはその際にお越しいただき、作品に対する思い等を述べてもらうことになっている。また詳細を委員の皆様にもお知らせするので、ぜひ足を運んでいただきたい。
- 奥村教育長 特別企画展ということで、かつての新人賞作品がずらっと展示されるイメージでよいか。
- 文化振興課長 そのとおりである。
- 奥村教育長 ぜひお越しいただければと思う。
- 土屋委員 私も昨年、一昨年と上野まで日本版画協会の版画展に行き、実際に全作品を見せていただいた。沼津のブースも充実しており、とても感動した。今年も行きたかったが、案内をいただいたのが今週だったため、日程が合わずに残念だった。もう少し早く予定を教えてほしい。
- 文化振興課長 大変申し訳ない。先方から案内があればすぐにお知らせするようにしたい。
- 奥村教育長 遠方にもかかわらず、毎年足を運びたくなるほど素晴らしい版画展である。ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（８）その他である。
何かあるか。なければ、残る日程は非公開とする。

報告事項３については非公開情報が含まれるため、当日は非公開としたが、本会の質疑応答内に非公開情報は含まれなかったため、公開する。

<報告>

奥村教育長 日程（９）報告事項である。

報告事項３ 令和５年度全国学力・学習状況調査について

<令和５年４月１８日に全国の小学校６年生、中学校３年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について検証改善委員会を実施し、沼津市の分析結果と今後の授業改善に生かすための取組をまとめたので報告する。すでに分析結果の資料を各校に送付しており、全職員が資料を活用して子供の実態を把握し、授業改善を図るよう市教委で働きかけを行っていく。保護者には、結果を伝えるための家庭用リーフレットを配布予定。教職員へは、今年度の成果と課題への対策を踏まえたメッセージを動画にまとめ、配信する予定である。>
(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

奥村教育長 毎年調査する学年が小学校６年生と中学校３年生に固定されているため、対象の小学校６年生が中学校３年生になった時に初めて経年的なデータがとれる。教員の授業がどう改善できるかという視点で見えていくと、年単位での学習状況の変化がわかるかと思う。本件に関する御意見、御感想はいかがか。

土屋委員 学習面での緻密な分析で、来年度への期待が持てた。一方、児童生徒質問紙の調査結果で「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という項目において、中学生の割合が全国平均より低い。小学生よりも中学生の方がより複雑な問題を抱えていると思うので、大変だとは思いますが、何かよい工夫をしていただけたらありがたい。

教職員研修センター所長 本当に中学生はデリケートな年頃であると思う。なかなか教員へ悩みを打ち明けられない傾向にもある。各担任のみならず学年体制で共有し、スクールカウンセラーや養護教諭等校内のあらゆる職員と連携をとりながら、まずは生徒一人一人の変容を読み取り、悩みを打ち明けられるような環境を整えていきたい。これは各校の努力が大切である。

奥村教育長 だんだん子供も成長するに従って、親との会話も少なくなっていく。孤立してしまうことが問題であるため、親に相談できないときには友達や教員に相談するといったように、誰か打ち明けられる人がいることが大切である。学校現場においてもアンテナを高くしており、例えばスクールカウンセラーが生徒一人につき３分程度必ず話を聞くといった相談月間のような取組やアンケート等の取組もあり、悩みを吸い上げられるきっかけとなっている。また、教育委員会学校教育課においても悩み相談が受け付けられるよう、１人１台端末に相談窓口の専用アプリを設けていると聞いている。

- 学校教育課長 今年度改善し、より見やすくアクセスしやすいようにし、実際に子供たちがアプリを開いて使い方を確認するようになったところ、例年の5倍ほど教育委員会に連絡が届いた。それを学校に伝え、対応するといった流れになっている。
- 奥村教育長 ほかにかがが。
- 重光委員 英語に関することでは、「英語の勉強が好きである」という項目よりも「英語の勉強は大切だと思う」という項目の方が数値が高い。大切であることはわかっているが、好きにはなれないということだと思う。好きこそもの上手なれという言葉があるが、どうしたら子供たちが英語を楽しく面白く思ってくれるか、いかに好きになってくれるかといった授業の工夫が必要であると思う。国語や算数・数学は特に論理的な思考が求められ、人間が生きていく上でどうしても必要な科目であると思う。中でも敬語は、色々な人と関わりを持つ上で必要であるが、近頃は面と向かって話す機会や対人関係が希薄になってきていることもあり、使用の機会が減少しているように思う。私生活でも実感しているが、中学生は親との会話も短文で終わるような感じである。親としても工夫していきたいとは思っている。
- 教職員研修センター所長 子供たちの言語環境は乏しくなっており、国語の授業内においても、具体的な感想を求めた際に「よかった」や「楽しかった」のような短文でやり取りが終わってしまうような場面が多々見られる。どのように楽しかったのか、具体的に語るためにはどの単語を使って表現したらよいのか、教科書等に例として示されているので、そういったものを活用して、子供たちが具体的に語れるように授業の中で取り入れてはいる。今後より一層力を入れていけるように、教職員研修センターとしても各校に目標を伝えながら取り組んでいきたい。
- 奥村教育長 英語に関しては、お示しのとおり小学校5年生から教科としての取組をしている。小学校の授業を見に行くと、子どもたちは本当に楽しそうにALTと一緒に授業に取り組んでいる。中学校でも、1年生までは非常に楽しそうにゲーム感覚で授業に取り組んでいるように見える。それが2年生になると格段に内容が難しくなってきた、分かってほしいと思っても「分かった」「できた」という喜びを得にくくなってくる。授業の内容が分かる喜びは、もっと学びたいというモチベーションにもつながるため、我々は永遠の課題として授業改善に熱心に取り組む、子供たちが主体的に教科と向き合えるようにしたい。毎年行うこの調査の分析をもとに教員が少しずつ改善を図り、たとえ時間はかかっても意図したことが子供たちに伝わっていくように、今できることは何かと意識付けすることの必要性が教職員研修センターからの話の中に感じられた。
- 学校教育課長 英語に関して今後、沼津市が非常に大きな可能性を持っているのは、沼津市独自で行っている英語パフォーマンステストである。これに関しては、90%以上の子どもたちが楽しいと思っているという成果が出ている。先日テレビ取材も受けたので、今後放映予定が決まったらまた皆様にお知らせしたい。
- 奥村教育長 ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。
ほかになければ、本日の定例会を終了する。

午後4時07分 閉会